諏訪台中学校

図書館だより

令和７年４月発行
荒川区立諏訪台中学校
校　長　　出井　玲子
学校司書　神谷　裕子

今年度も学校図書館は、みなさんの学習や読書活動を応援します。どうぞ、よろしくお願いいたします。

ようこそ学校図書館へ　図書館オリエンテーション

オリエンテーションで、図書館の使い方を確認し、新年度の本の貸出がスタートしました。

学校図書館は、みなさんの読書活動を支える「読書センター」、学習支援を行う「学習センター」、情報活用能力を育むサポートをする「情報センター」という機能があります。分からないことがあったら、学校司書や図書委員に聞いてください。学校図書館を上手に活用して、充実した中学校生活を送ってください。

開館時間	9:40～16:30 10分休み・昼休み・放課後
貸出冊数	３冊
貸出期間	2週間

学校図書館キャラクター　フクローさん

フクローさんは、ふくろうのぬいぐるみのかたちの「しおり」です。しおりとして、本の中の世界を旅しています。頭としっぽは、しおりのリボンをイメージしています。フクローさんのバッグの中には、今まで旅した本の世界のおみやげがたくさん入っています。

※令和５年度図書委員会で図書館キャラクター募集イベントを行い、応募された生徒作品の中から選ばれました。

荒川小中学校推薦図書リスト『本との出会い』

毎年、新入生に、荒川区立小中学校推薦図書リスト『本との出会い』がプレゼントされます。小学生向け、中学校向けのおすすめ本がたくさん掲載されているブックリストです。１年生の図書館オリエンテーションでは、どんな本が紹介されているかを見たり、使い方を確認したりしました。ブックリストは、本との出会いをサポートしてくれる心強い味方です。中学校での３年間、大切に使いましょう。

オープンスペースの本紹介

　各学年のオープンスペースには、ブックトラックがあり、朝読書や休み時間に読むことができる本が並べてあります。今年度は、新しい本がたくさん入っています。ぜひ、チェックしてみてください。

　ブックトラックの本は、個人で持ち帰ることはできません。使い終わったら、必ず元の場所に戻しましょう。

『楽隊のうさぎ』　中沢　けい／著、新潮社

「君、吹奏楽部に入らないか？」「エ、スイソウガク!?」学校にいる時間をなるべく短くしたい、引っ込み思案の克久は、中学校に入学し、吹奏楽部に誘われた。さあ、どうなる？

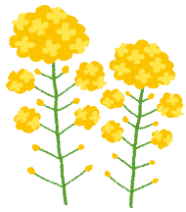
物語の舞台は 学校

『春や春』　森谷　明子／著、光文社

須崎茜は俳句好きの女子高生。俳句の趣味を理解してくれる初めての友人ができたことをきっかけに、「俳句甲子園」を目指すことに。俳句の魅力がいっぱい詰まった青春小説。

『逆ソクラテス』　伊坂　幸太郎／著、集英社

「今まであちこちの学校に通ったけどさ、どこにでもいるんだよ。『それってダサい』とか『これは格好悪い』とか決めつけて偉そうにする奴が。で、そういう奴らに負けない方法があるんだよ。」不思議な転校生・安斎が語ったその方法とは…。



ゴールデンウィークは 家読（うちどく）しませんか？

　家読とは、家族ふれあい読書の意味で、読書を通じて、コミュニケーションを図り、家族の絆をつくる取り組みです。家族でお気に入りの本を教え合ったり、一緒に近隣の図書館に行ってみたり…家読には決まったやり方はありません。お休みの日は、本を囲んで、家族で楽しい時間を過ごしてみませんか？

読書を愛するまち　あらかわ

荒川区は、「読書を愛するまち・あらかわ」宣言を行い、「本が身近にあるまちづくり」を積極的に進めています。